

多言語多文化研究に向けた複合型派遣プログラム
派遣先機関等利用マニュアル

年 月 日

派遣者氏名（専門分野）	松本ひとみ（文化動態論専攻 アート・メディア論）
-------------	--------------------------

派遣期間	2010年9月1日 ～ 2010年9月21日
------	------------------------

派遣研究機関

国	都市	訪問機関
イギリス	ロンドン	LSE Library

利用マニュアル（利用申請に必要な書類、手続き、リサーチ方法等を記入）

LSE の学生でないものは、3ヶ月の期限付きの利用証を発行してもらう手続きが必要である。手続きのために、顔写真付きの身分証明書と、住所を証明できる英語の書類（役所が英語書類の発行に未対応であれば、銀行の残高証明書）が必要。また、担当教員の推薦書があれば信憑性が上がる為、用意した方がいい。写真はその場で撮影する。

2010年にルールが変更になったそうで、新規登録よりも更新手続きのほうが困難である。更新する際は、なぜか「イギリス国内の」住所証明が要求される。（公共料金の支払い明細など）通常、一時的に滞在するものにとっては準備が困難なものである。ねばって、手持ちの書類で通してもらうか、新規登録扱いのほうがいいだろう。

資料は基本的に開架である。LSE の学生でなければ外部持ち出しはできない。館内の端末から、OPAC で検索し、配置場所を確認する。ただし検索システムが脆弱な為、関係のない多くの資料がヒットしてしまう。検索ワードを何種類か試す、高度検索を利用するなどしなければならない。パンフレットなどは閉架のため、OPAC からリクエストし、一定時間後にグラウンドフロアの受付にとりに行く。また、古い資料はマイクロフィルムにおさめられている場合があり、これもリクエストが必要。ファーストフロアのマイクロリーダーを使って閲覧、プリントができる。わからないことがある場合は、ファーストフロアのサポートデスクに聞けば教えてくれる。

コピーは専用のコピールームがある。プリペイドカードを買って入金する。入金専用マシンだとコインしか使えない為、紙幣を使いたい場合はコピールームのカウンターに頼めばいい。コピー料金は A4 サイズであれば 0.04 ポンドと安価である（2010年9月現在）。プリペイドカードに払い戻しのシステムは無く、他の利用者に現金とカードを交換してもらうしかない為、過剰なチャージは避けるべきである。

インターネットに接続できる端末も豊富に用意してある。もちろん日本語は使えないので注意。プリンタも用意してあり、ホームページなどを自由にプリントできるので便利。こちらも一枚 0.04 ポンドである。